

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 学習館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 学習館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民一人一人の学習・文化活動を支援促進し、市民文化の向上に寄与するために必要な生涯学習に係る事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(109%)=(R4年度実績27.8%)÷(R3年度実績25.6%) 各貸し部屋の利用率は別紙。	5点			
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(130%)=(R4年度実績73,833人)÷(R3年度実績56,627人) 各貸し部屋の利用人数は別紙。	5点			
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P238～239 ①多治見市桔梗大学(65歳以上・入学95名) (1)入校式・修了式各1回 (2)教養講座(2回)、芸術鑑賞(落語会)、特別講座・新聞ちぎり絵 (3)文化祭/展示部門とステージ部門を3年ぶりに合同開催。 (4)クラブ活動/10クラブが月1～2回活動を実施。 ②多治見市美術展 (1)一般の部/7部門309点の応募(昨年度比18点増)。 (2)子どもの部公募/市内の3歳児から中学生まで296点の応募。 (3)学校作品展/市内の保育園および小学校から1,637点の応募。会期中、親子向け造形ワークショップを初開催。	仕様書以上 13点	①桔梗大学は、生涯にわたる学びの場、高齢者相互の出会い、仲間づくりの場として、コロナ禍でも途絶えないよう、感染対策を徹底して取り組まれた。中でも文化祭は3年ぶりに展示とステージ両部門を合同で開催。感染者が出ることもなく、高齢者の生きがいがいづくりに寄与する機会を提供した。 ②美術展一般の部は80回目を数え、開催回数では東海地方屈指。出品点数も増加傾向にある。蓄積した運営ノウハウを生かし、作業の効率化、鑑賞しやすい展示の工夫など近隣に劣らない質の高さも評価できる。 ③学校作品展は、例年会場としている文化会館の改修工事に伴い、笠原中央公民会で開催。郊外での開催のため、会期を1日延長するなど配慮。また家族での来場が多いため、親子向けのワークショップを開催し、家族で造形に親しむ機会を提供。美術展の新しい価値の創出に努めた。	13点			
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	①1階ロビー賑わい創出事業 (1)ウエルカム1/タイルアクセサリー、防災カルタ選手権など(9事業) (2)ブルー・ステージ事業/ジーンズでコーラスを!、多高総合学習出張発表会、レコード鑑賞会、ボードゲームプレイ会場 ②他機関との連携事業 (1)ぶよぶよテトリス2多治見王決定戦((一社)Elespo)、(2)ボードゲームDEちよびりSDGsも(ボードゲームフェスタまいたん!)、(3)タジミ学2講座/古文書講座(郷土資料室)、(4)親子de体操/女性ホルモンとカラダのトリセツ(くらし人権課)、(5)桂二葉一人会(旭ヶ丘・脇之島公民館他)、(6)新聞ちぎり絵ワークショップ(多治見中日サービスセンター他)、放送大学連携講座 ③生涯学習講座/まなびの森(12講座)、60代倶楽部(2講座) ④文化情報誌BUNBUNねっと創刊100号記念プロジェクト ⑤まなびブリッジ事業/VIVA!マナビ/バ!(108講座) ⑥生涯学習コーディネーター事業の受託	期待以上 13点	①従来の取組み「ウエルカム1」に加え、青い陶壁を背景にして合唱の発表や高校生の学習発表、レコード鑑賞会などを「ブルーステージ」と題して実施。1階ロビーの活用の充実に取り組む、交流の場の創出、施設の利用促進・魅力の発信に努めた。 ②様々な市民団体や民間事業者と連携・協働し、eスポーツ、SDGsを考えるボードゲーム、新聞ちぎり絵など近年話題のテーマや社会づくりにつながるテーマで事業を実施。また、文化振興事業団の施設間連携により、著名な噺家の落語会を学習館をはじめ3施設で実施。コロナ禍で文化活動に触れる機会が減った市民に向けて多彩な企画を展開しており、今後の取り組みにも期待する。 ③情報誌「BUNBUNねっと」発刊100号を記念し、講座無料券が当たるガチャボンや公民館等での「100」にまつわる事業の実施など「100号プロジェクト」を展開。情報誌の知名度を高めつつ、市民のまなびへの参加意欲向上のための、遊び心のあるアイデアである。 ④生涯学習コーディネーター事業は指定管理とは別の市委託事業。市立公民館のない地域での生涯学習講座の実施に加え、学校施設を活用した中規模事業(夏休み映画会/落語会)を開催し、地域型生涯学習事業の推進に努めた。	13点			
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P258 ①館内・建物周辺清掃(日常)を実施。 ②クレンリネス(清潔そして快適)の視点に立ち、清掃衛生活動を実施。貸部屋利用後は、次の利用者が快適かつ衛生的に使えるよう、室内の清掃等を徹底。 ③希望の利用者に簡易のふき取りセット(使捨て手袋、紙ナプキン、消毒液)を貸出。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点				
		②保守・点検			年次報告書P258・259 ①建物管理会社に委託し、各種点検や業務を遅滞なく実施。 ②点検結果等は、設備の修繕や更新計画および持続可能な施設運営に反映。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
		③保安・警備			年次報告書P259 ①開館日は警備員による巡回及び立哨業務。夜間及び休館日は機械警備を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
		④小規模修繕			年次報告書P260～261 ①有償修理 全23件 総額3,339,630円(地下駐車場無料認証方法の変更、基幹設備の維持管理に係る部品更新等)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P261 ①職員による開館前点検(目視・触診)を実施。 ②日常点検および定期点検を通じ、危険箇所の把握と早期の修繕等迅速に対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P251 ①市のファイリングシステムに準じて文書を管理。文書管理責任者によるOJT研修を実施。 ②問い合わせにスピード感を持って対応できるよう、文書情報の整理を継続。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P251 ①AIを活用した省エネシステムの活用と館内照明(非常誘導灯含む)のLED化を継続的に実施。電力需要の逼迫と温暖化防止を意識し、省エネ活動を推進。市による館内空調設備の更新により電力の効率化、省エネ化が一層図られた。 ②ドライ型ミスト発生器の運転、職員の熱中症対策アドバイザー資格取得等、熱中症による事故防止への取り組み。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P262 ①子育て/バリアフリーの取組みとして1階に授乳室を常設。安心、安全、清潔な利用のため適切管理。 ②高齢者や障がい者の移動を妨げないよう動線の確保に努めた。 ③1階及び地下駐車場入口に車いすを設置。定期的な点検を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P252・266 ①備品台帳に基づく適切な管理と利用者ニーズに応え備品の更新を適正に実施。 ②始業前巡回点検で、机やいすなど什器類を点検。不具合には可能な限り即日修理で対応。 ③ネーミングライツ事業により、学習コーナーや貸部屋、緑地の椅子、机を更新。快適な利用環境を整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P252 ①個人情報の取扱いは、「個人情報保護に関する方針」を遵守。 ②個人情報を含む書類等をキャビネットに保管。廃棄はシュレッダーで裁断、処分場へ持込。 ③個人情報の収集は必要最低限とし、業務中は机上に放置しない。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入291,236,913円÷支出288,196,996円＝101%(図書館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む) ※上記収入のほか、多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として169,680円別途交付。	105%未満～100% 4点	【参考】 ①指定管理料128,684千円 ②施設独自の収支(人件費、本部経費等除く) (1)収入/利用料金収入10,829千円、文化事業収入5,605千円、雑収入531千円 (2)支出/管理運営費76,042千円、文化振興事業費11,521千円	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P264 ①地下駐車場の1時間無料認証を、来館者が1階受付に立ち寄って認証を受ける方法から、入庫時に発券される整理券に1時間無料分が記録される方法に見直し。 ②利用者の利便性向上、利用傾向を意識した備品調達 (1)駐車場入庫時の機械トラブルでの利用者からの呼出しに対応するモニターを5階事務所に設置。モニターが計3か所に対応可能となり、迅速に対応できるよう整備。 (2)研修会等の利用増加に伴い、視認性が高く高解像度のプロジェクターを導入。 (3)ホールの室内時計をデジタル時計に変更。空間で時刻確認が容易になった。 (4)音楽室に背付き椅子1台を追加し、連弾や指導者用として利便性がで向上。	期待以上 9点	①地下駐車場の無料認証方法の見直しは、従来の方法が長年定着していたものの不便さを感じていた利用者も多く、大きな改善点である。施設の利用価値の向上に寄与した取組みと評価。 ②駐車場入庫時のドライバーからの呼出しを受ける場所を2か所から3か所に増やしたことにより、緊急時の対応の迅速化が期待できる。無料認証と同様、利用者目線での大きな改善点として評価。 ③備品の調達は、施設利用の傾向を把握し、より快適に利用していただけるようニーズを整理した結果と評価。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告書P265 ①利用者から申告があった苦情(館内巡回中の警備員に対するもの)について、警備員への聞き取りと防犯カメラ映像から、苦情の内容に正当性がないと判断。館長から当人に対し、「警備員の業務全般について来館者に疑念を抱かれないよう今後も適切に対応する」旨を説明し理解を求めた。	苦情なし・期待以上 5点	報告の事案は不当なクレームに近く、館としての対応は適切だった。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P265 ①コロナ禍が落ち着き多目的ホールの利用が徐々に増える中、改修により長期休館となった文化会館の代替施設としてホール利用の多くの問い合わせに対応。 (1)市内服飾専門学校のファッションショーは規模も大きく注目度が高い催事であり、主催者と数か月に渡り準備を重ねて親身にサポート。催事に対し「全ての要望に応じていく、より満足度が高い提案をする」というスタンスで、職員が結束して設備を活用。 (2)ホールでは通常の鑑賞事業のほか、広い空間を活用した体操教室やeスポーツの催事を実施し、市民に施設の魅力を発信。	期待以上 13点	①文化会館の休館で需要が増えた多目的ホールの活用に取り組み、利用者や来館者に学習館の価値を広く知ってもらう機会の創出に努めた。 ②多目的ホール内の大型電気時計の設置、4階及び6階の共用部照明のLED化等、利用者への環境整備に努めた。 ③1階ロビーで賑わい創出を目的に、季節に合わせたディスプレイを施し、来館者から好評を得た。貸館や講座、催事だけでなく、来館者が快適に過ごすことのできる環境づくりにも注力した。 ④文化事業の実施にあたり、SDGsやe-Sportsなどの社会活動やトレンドを反映した事業を展開。新規の利用と認知度向上への取り組みを評価。 ⑤市民活動団体やNPO法人、公的機関が行う様々な「まちの活性化」の取り組みとも積極的に連携。次年度につながる活動計画の策定なども協働して行うなど参加者をはじめ協力団体からの評価を得た。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点
						全体的な評価 ①図書館や市民活動交流センター、他の公民館等との連携により多くの講座や事業を手掛けており、市の生涯学習の拠点として利用者からの信頼の厚さがうかがえる。引き続き質の高い事業の企画立案を期待する。 ②駐車場無料認証の手続きの見直しは、かねてからの課題であったが、利用者の利便性の向上に繋がった目に見える改善として評価できる。 ③大規模にして、老朽化が徐々に顕著になりつつ施設だが、維持管理や小規模修繕に努めながら、施設や設備の可能性を利用者に提案していこうとする姿勢がうかがえる。			極めて良好